

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立乃木小学校

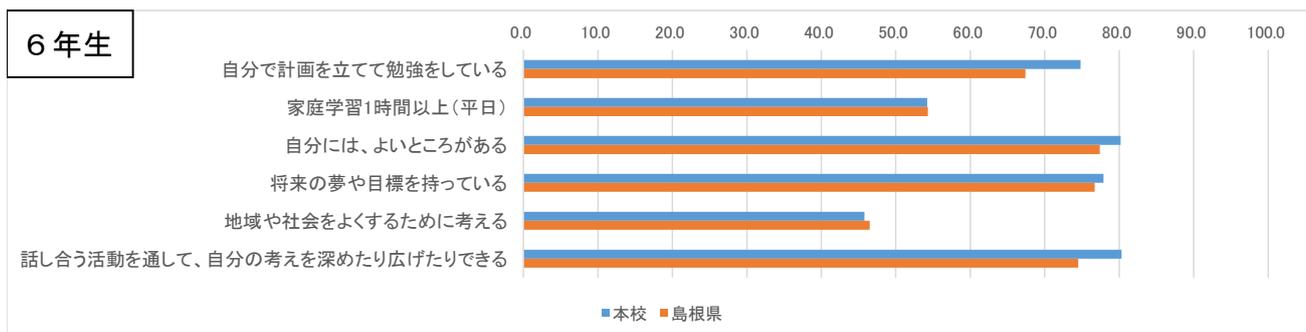
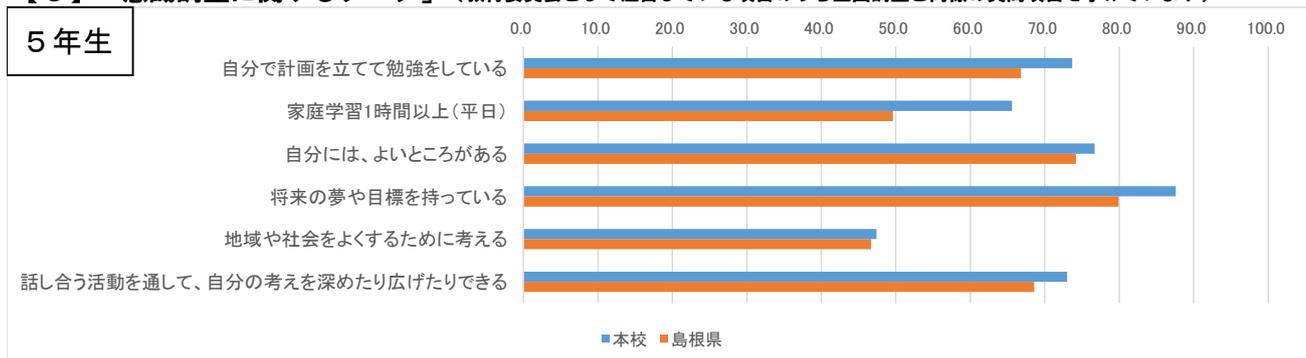
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○「話す・聞く」、「言葉」の領域で正答率が高く、基本的な語彙の理解ができている。 ○「書くこと」の領域で全国平均を上回っており、情報を活用して文章を書くことができている。 ●「読むこと」の領域で叙述をもとにした読み取りが若干弱い。 ●「書くこと」の領域で段落の利用や自分の意見と理由をわけて文章を書くことが十分できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「話す・聞く」の領域で正答率が全国平均を上回り、話の内容を捉えることや意図に応じた質問ができている。 ○「書くこと」の領域で全国平均を上回っており、情報を活用して文章を書くことができている。 ●「書くこと」の領域で段落の利用や自分の意見と理由をわけて文章を書くことが十分できていない。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○全体の正答率が県平均を大幅に上回り、単元全体を通して安定した学力の定着が見られる。 ○「数と計算」、「図形」領域での正答率が高く、小数や分数の基本的な計算ができている。 ●「変化と関係」領域、特に単位量当たりの大きさに関する正答率が低く、定着が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体の正答率が県平均を大幅に上回り、単元全体を通して安定した学力の定着が見られる。 ○「図形」、「変化と関係」、「データの活用」領域での正答率が高い。 ●「数と計算」領域、特に分数のかけ算・わり算の正答率が低く、逆数の理解や数量関係を数直線で表すことが苦手である。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分で計画を立てて勉強をする意識」、「話し合い活動を通して自分の考えを広げ深める」ことができていると自覚している割合が高い。 ●「勉強でパソコンを利用している」と感じている割合が高くなく、授業や家庭学習で必要感を持った活用が十分できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分で計画を立てて勉強をする意識」、「話し合い活動を通して自分の考えを広げ深める」ことができていると自覚している割合が高い。 ●授業で学んだことの活用や家庭学習での自主的な調べ学習などへの意識が低い。 ●「授業でのタブレット利用をしている」と感じている割合が若干低い。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生 139名

6年生 140名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)